ATR-FUV　遠紫外分光装置

関西学院大学・倉敷紡績株式会社・農研機構食品研究部門との共同開発

窒素パージ型分光器を使用し、減衰全反射法（ATR 法）を用いることで、従来では測定が出来なかった遠紫外領域（波長 120 ～ 300nm）の液体の遠紫外スペクトルが測定出来る装置です。

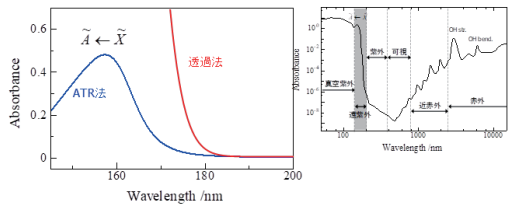
装置仕様

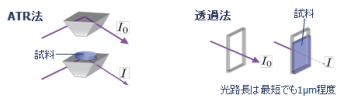
- ●測定波長領域　：120 ～ 300nm
- ●測定項目　：ATR 測定・透過測定
- ●測定方法　：セミダブルビーム方式
- ●測定繰り返し再現性　：0.1nm 以下
- ●試料入射角度　：60°～ 90°連続可変
- ●内部反射素子　：サファイヤ、石英
- ●装置内部雰囲気　：窒素置換構造

測定データ

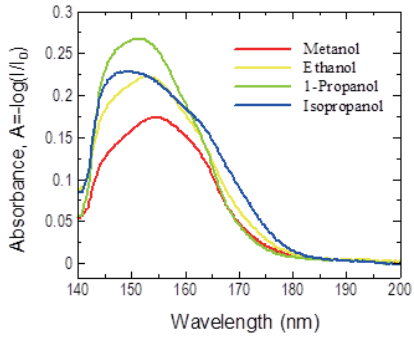
世界初！　水の $\tilde{A}\leftarrow\tilde{X}$ 遷移吸収バンドを観測！！

遠紫外領域 (120 ～ 280nm) の水の吸収係数は非常に大きく赤外の O-H 伸縮振動バンドの 10 倍以上の強さで、100nmのセル長でも吸光度は 1 を超えてしまう程度です。本装置では減衰全反射法（ATR 法）を利用し、世界で初めて水の $\tilde{A}\leftarrow\tilde{X}$ 遷移吸収バンドの観測に成功しました。





これまでは気相の研究に用いられることがほとんどであった遠紫外分光ですが、減衰全反射法 (ATR 法）を利用することによって、これまで測定されていなかった液体、固体への適用が可能となりました。



●寸法はおおよその大きさです。オプション等により外観および寸法が異なる場合があります。
●記載の仕様および外観は予告なしに変更する場合があります。

< KV-ATR-1804OPIE18>

分光計器株式会社
http://www.bunkoukeiki.co.jp/
本社・工場　〒192-0033　東京都八王子市高倉町 4-8　TEL 042(646)4123　FAX 042(644)3881
東日本営業所　〒113-0034　東京都文京区湯島 3-23-1　TEL 03(3837)1021　FAX 03(3837)1023
西日本営業所　〒533-0014　大阪府大阪市東淀川区豊新 3-24-5　TEL 06(6323)4502　FAX 06(6323)4902